

授業案②

～おどろき！ アニメーション？～

小金井市立第四小学校 図工専科  
河野 路

◆対象学年 小学校 4 年～6 年

◆授業時数 180 分(2 コマ×2 回)※1 コマ 45 分

活用展開例 (1 回目)

時間	主な活動(・)と発問(○)用具(●)	指導上の留意点(・)評価規準(◎)
30 分	<p>【学習のめあて】 「回転運動の仕組みを利用したマジカループで自分のアニメーションを制作し、動きを楽しむ」</p> <p>○アニメーションの元祖であるおどろき盤とデジタル版のマジカループを知ろう。 ●モニター</p> <p>・回転アニメーションの歴史、おどろき盤について資料をモニターに映して説明します。(指導者) ・今回はデジタル版のマジカループで制作することを伝え、マジカループを映し出し、実際に操作を行い、手順を説明します。(指導者)</p> <p>マジカループの試行の手順 ・スタンプ ①コマ数 (8 コマ)・背景色を指定する。 ②スタンプでシンプルな形を配置する。 ③回転の仕方・速さの調整。 ④保存 (GIF アニメ) →ダウンロードフォルダへ ⑤全てクリアする。 ・ペンツール (ドロー機能) ⑤コマ数 (8 コマ)・背景色を指定する。 ⑥細いペンで手描きする。 ⑦回転させてみる。 ⑧保存 (GIF アニメ) →ダウンロードフォルダへ</p>	<p>・基本の操作法を全体で確認しながら操作を進めていきます。</p> <p>・マジカループは回転運動を楽しむ作品にもつながりやすいが、アニメーションにつなげる場合はコマ割りを意識しながら制作するように伝える。</p>
40 分	<p>○マジカループで各自アニメーション制作をしてみよう。 ●タブレット</p> <p>・全員のタブレットの画像をモニターに並べて中継を行い、進捗を共有できるように設定します。(教員)</p>	<p>・指導者は机間を回って相談できるようにします。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自のタブレットでマジカループの機能を使って、アニメーションを制作します。</li> </ul>	
20分	<p>○それぞれの作品を鑑賞して、感想を伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画面をマジカループの自動再生にして机の上に置き、席を離れてそれぞれの作品を鑑賞して回ります。</li> <li>・席に戻り、おもしろい作品やいいなと思った作品について伝え合います。</li> <li>・全体で活動を振り返り、感じたこと・発見を伝え合います。</li> <li>・次回の展開としてマジカループで制作した作品の中から1作品をおどろき盤にするため、児童は作品を決めて、データを提出します。</li> <li>・書き出し形式を「印刷する」を選択し、データをダウンロードします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言する生徒は挙手をしてから発言をします。</li> </ul> <p>※教員は次の授業までに児童が選んだ作品を印刷して用意しておきます。</p>

活用展開例（2回目）

時間	主な活動(・)と発問(○)用具(●)	指導上の留意点(・)評価規準(◎)
10分	<p>○前回の授業を振り返ろう。</p> <p>●モニター</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回行ったことと、おどろき盤についてもう一度説明します。(教員)</li> </ul>	
75分	<p>○マジカループの作品からおどろき盤を制作しよう。</p> <p>●前回の作品を印刷した用紙、黒画用紙、ハサミ、のり</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷されたマジカループを黒画用紙に貼り、線に沿って切り抜きます。</li> <li>・割り箸におどろき盤の中心を画鋏で留めて、手に持っておどろき盤を回せるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者は机間を回って、制作の手順通り進んでいるか確認します。</li> <li>・ハサミ、画鋏で留めるなどの際には、注意するように伝えます。</li> </ul>
	<p>○おどろき盤の仕組みと見方を考えてみよう。</p> <p>●鏡</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作したおどろき盤を手に持ち、おどろき盤の仕組みを考えます。アニメーションに見える動かし方・見方を試します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初から動いて見える見方を教えるのではなく、児童の発見をもとに進めていきます。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見方を発見し、感じたことを伝え合います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いに見る方法も同じように児童の発見を促します。</li> <li>・マジカループとおどろき盤は鑑賞の仕方が違うので、それぞれのおもしろさを伝えます。</li> </ul>
	<p>○手描きのおどろき盤を制作してみよう。</p> <p>●おどろき盤の枠が印刷された用紙、筆記用具(鉛筆・ペン) 黒画用紙、ハサミ、のり</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おどろき盤の枠に、どんな動きにしたいのか考えて、ペンで描き進めていきましょう。</li> <li>・完成したら、おどろき盤を回して鑑賞します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者は机間を回って相談できるようにします。</li> </ul>
	<p>○手描きのおどろき盤をマジカループで取り込んで見てみよう。</p> <p>●タブレット</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マジカループの「アナログでつくる」の画像取り込み機能を利用します。</li> <li>・手描きのおどろき盤の写真を撮影し、タブレット上でアニメーションにします。</li> <li>・アニメーションは保存し、学習クラウドに提出します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの使い方や機能について確認して回ります。</li> <li>・回転の方向や速度を変えながら、鑑賞するように伝えます。</li> </ul>
5分	<p>○活動の振り返りと感想を伝え合おう。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で活動を振り返り、感じたこと・発見を伝え合います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質疑応答の時間を設けます。</li> </ul>

### 授業後の展開

おどろき盤の鑑賞ができるような展示場を設けるか、マジカループとアナログ版の作品を学習クラウド上にアップロードし、閲覧して楽しめるようにする。

### ◆授業のねらい

アニメーションの元祖であるおどろき盤について知り、回転運動の仕組みを利用したデジタル版おどろき盤「マジカループ」を使って、タブレットで自分のアニメーションを制作し、おどろき盤として動きを楽しむ。マジカループとおどろき盤は鑑賞の仕方が違うので、それぞれのおもしろさに気づかせたい。